



岡山県立岡山東商業高等学校 同窓会会報

第3号 平成28年2月15日発行

発行
岡山県立岡山東商業高等学校同窓会
<http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/>
デザイン・印刷 株式会社サラト
題字 東商12期 有瀬加子(芳心)



同窓会会長
石川浩朗

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。今年度より同窓会会長に就任いたしました石川浩朗（東17期卒）でございます。

創立117年の長い歴史と伝統を持つ岡山東商業高校の同窓会会長を承り、身の引き締まる思いでございます。そして、中学校教育を通して地域に貢献出来る、社会に役立つ人間の育成を目指して指導しておりましたので、このような形で母校に恩返しができることを大変うれしく思っています。

なにとぞ武田聖克前会長同様よろしく願いいたします。

さて、平成27年6月21日に行われました第115回同窓会総会におきましては、300名を超える参加者により大盛況に行うことが出来ました。これは、常任幹事様を軸として各期の幹事の皆様には、各期のまとめ役としてご尽力ご活躍いただいたお陰と考えております。そして、甲子園制覇より50年が経過した現在、部活動並びに教育活動の一層の発展・活躍を願いたいとの思いから、向井正剛先生を始め当時選手として

活躍した皆様にご出席いただき当時の苦しく辛い、しかし楽しかった思い出をお話していただきました。現役の吹奏楽部の校歌並びに応援歌の演奏に思い出も一層鮮明になったことと思います。このような時間を過ごす中で、同窓生の皆様の熱いお気持ちが会を一層盛り上げたものと感謝している次第です。誠にありがとうございました。次回116回同窓会総会におきましても多数の同窓生の皆様にご参加いただき、より一層盛大に行いたいと執行部一同考えておりますのでよろしく願いいたします。

なお、同窓会会報第3号発刊にあたりましては、お忙しい中恩師向井正剛先生を始め在校生新聞部の皆様、同窓生の皆様にご寄稿いただく等、ご協力いただき大変ありがとうございました。また会報は4号・5号…と続けて発刊してまいります。限られた紙面ではございますが母校の現状ならびに生徒の皆様の活躍の様子、そして会員皆様の活躍の様子等をお知らせすることが出来ればと考えておりますので、ご協力方よろしく願いいたします。



同窓会前会長
武田聖克

東商会報第3号の発刊お疲れ様です。

第111回同窓会総会で会長の役を受け、第115回同窓会総会まで4年3か月、会員の皆様のご指導ご協力のお陰で何とか無事務めることが出来、ありがとうございました。

思えば“あっ”という間の4年間でしたが私にとっては、大変大きな経験と勉強をさせていただき、忘れられない思い出となりました。重ねて厚く御礼申し上げます。

ます。

石川新会長、役員の皆様は同窓会、東商高の繁栄に向かって頑張っておられる様子です。

同窓会と母校とは車の両輪でありどちらに不具合があっても前進することが出来ません。どうか今まで以上のご指導ご協力をお願い申し上げ、同窓会と東商高の益々の繁栄を願い退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



学校長

吉田 信

同窓会の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から母校の教育の発展充実のために物心両面にわたり温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

私は平成26年度末の人事異動によりまして、榊原俊章校長の後任として、県立津山商業高校より着任いたしました。私は以前本校に勤務させて頂いておりまして、8年間他校に勤務しこの度2度目の勤務となり通算14年目となります。学校創立117年目という歴史と伝統に輝き、古くは「県商・一商・二商」と親しまれ、開学以来、岡山県の商業教育の中心校であります本校に勤務できますことを誇りに思っております。しかし、それ以上に責任の重さから身が引き締まる思いです。教育活動の舵取りと学校経営に最善を尽くして参りたいと決意しておりますので、どうかお力添えの程よろしくお願いいたします。

本校は今年で学校創立117年目を迎えております。この間、歴史や文化が連続として受け継がれ、その時その時に、新しい息吹を吹き込み、後世に伝え今日まで発展してきています。この間に学校は素晴らしい発展を遂げ多くの卒業生を送り出してきました。先輩から後輩へと伝えられてきた岡山東商業高校の伝統と精神は、これからも脈々と永遠に引き継いで参ります。今年の東商のキャッチフレーズは、「情熱疾走 東商」です。教職員・生徒が一丸となって創立120周年に向けて、新たな伝統を作っていくています。

学校の近況ですが、3年生の授業科目「課題研究のベンチャービジネス講座」や科目「商品開発」では、生徒と地元企業が共同で商品を開発し地元百貨店や商店街、イベント等で販売しています。今年は、「ももたろうとまどぼんず」・「おかやまブルーベリームース」・「まるやか三色プリン」・「吉備物語」・「お弁当シリーズ」などを販売しております。また、1年生の美術の授業では、倉敷ロイヤルアートホテルとのコラボレーション企画で「大原美術館に所蔵されている絵画をモチーフにした料理レ

シピコンテスト」で最優秀となり商品化もされました。

グローバル人材育成を目指した取り組みとしては、夏休みを中心にオーストラリア体験留学、シンガポール海外短期研修、中国大連での中国語学習研修会、中国江西省での高校生派遣事業など海外への留学や海外研修に積極的に参加しています。また、ホームステイでの留学生受け入れでは、4月から3ヶ月間ラトビアからジョージ君を受け入れたり、10月から1ヶ月間スウェーデンからアリス君を受け入れたりして生徒と全く同じ生活を送っています。また、日本訪問団の受け入れでは、7月に中華大学の学生13名が訪れ歌や踊り、ゲームや剣道体験、書道体験などで交流会を深めました。11月には中国の高校生32名が訪れ各クラスに入り授業を受けたりして交流をしています。

また、地域連携にも力を入れており、吹奏楽部、ダンス部、書道部、写真部などは地域のイベント等に積極的に出かけて行っています。美術部は、三幡軽便鉄道が100年前に運行していたことを記念して桜橋1丁目の岡山ガス東側、倉安川に面した壁面に三幡軽便鉄道の絵を描きました。このように教室で学んだことを地域で生かしながら生徒達は将来の地元を担う人材として逞しく確実に育ってくれております。

11月21日には第22回東商デパートが開催され年々盛り上がりを見せています。日頃の学習の発表の場として、また本校の魅力づくり、特色づくりの一環として取り組んでいます。地域に根ざした事業としてこれからも大切にしていきたいと思っております。ご協力頂きました企業様や同窓生の皆様方に心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、今後とも同窓生の皆様のご支援助とご協力を頂き、商業教育の中心校としての存在意義を示し、学校行事や部活動で輝かしい実績を誇る東商業高校となりますよう頑張ってお参りますので今後ともよろしくお願いいたします。そして、本校同窓会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げますご挨拶とさせていただきます。

岡山東商野球部の甲子園出場を願って！



仙台大学名誉学長
野球部元監督 向井正剛

昨年は高校野球が誕生して100年、岡山東商高が第37回選抜高校野球大会で全国優勝して50年の年であった。後にも先にもない岡山県内唯一の高校野球優勝。このことから「テレビせとうち」が「50年目の優勝メダル」という番組を制作し9月に放映された。この番組の放映を機に岡山東商高の同窓生、関係者はもとより、県下各地のかつての東商ファンの多くの方々から、野球部の復活を願う様々な声が数多く寄せられ現在も続いている。

岡山東商高野球部（以下野球部）の甲子園出場は、1978年（昭和53年）の春、夏連続出場以来、2016年（平成28年）の38年間に春、夏1回ずつの出場（いずれも1回戦敗退）のみと長期間にわたり低迷が続いている。このことは野球部の黄金期であったといわれている1963年から1978年までの16年間に、春、夏合わせて計15回甲子園に出場し、全国優勝1回、準決勝進出2回のほか国民体育大会での全国優勝（1971年）など、輝かしい戦績を残した当時の野球部を知るオールド・ファンの人たちにとって、今回のテレビ放映は第37回選抜高校野球大会優勝時に評された「技術もマナーも日本一」以来、甲子園出場のたびごとに「マナーの岡山東」と絶賛された黄金期当時のチーム・カラーの復活も合わせて願う絶好の機会となったところである。

したがって、節目の時ともいえるこの機会に、学校当局、同窓会、野球部OBはもとより関係者が一致団結し、岡山県下唯一の全国制覇の歴史を有する野球部にふさわしい組織体制、並びに協力体制を再整備し万全の強化策を策定し実施することが、多くの方々の期待に応えることにもつながる極めて時宜を得た重要な事柄と思われる。その内容について考えられることは枚挙にいとまがないが、ここでは紙幅の関係でその中で最重要課題として、早急に取り組むべき2点について私見を述べさせていただきます。

第一は優秀な選手の獲得である。県下の中学生（県立高校のため県内に限られる）の中から精神的、技術的に優れた選手を獲得するための手立てについての検討。

第二は、独自の練習内容の開発と指導力の向上である。「技術もマナーも日本一」を目指すためには技術、精神両面での高い指導力が求められることから、それにふさわしい戦略、戦術、練習内容を究明し、さらには指導力を高めるための方策の検討。以上2点について前述の関係者間で早急に結論を見出し実現に向け努力されることが強く望まれる。

ハイ・レベルの選手と日本一を目指す練習内容並びに緻密な指導が展開出来るチームが実現すれば、王座復活は間違いのないものと大いに期待されることである。

心を一つに ～翠光祭～

平成27年の翠光祭は「魅せる東魂！～心に架かる4色の虹～」のテーマのもと、チームリーダーや3年生を中心に、学年を超え短い準備期間の中で、模擬店、装飾、ステージ、応援、パネルの係に分かれて工夫を凝らした発表をしました。

文化の部は吹奏楽部による素晴らしい演奏で幕を開けました。ステージでは笑いが起こったり感動したりするものもありました。その他にも書道部・ダンス部のパフォーマンスや文化部の展示などそれぞれが協力しあって発表しました。模擬店では各チームそれぞれのチームカラーを使ったメニューを考え、先生方が審査しました。多くの人に喜んでもらえたと思います。

体育の部は一度雨で延期になり、1週間後に行われることになりました。競技ではチームで得点を競い合い、チーム・学年関係なくお互いに応援しあっている姿が多くみられました。運動部に所属する生徒が多い東商ならではの盛り上がりでした。リレーには先生方も参加し声援が飛び交っていました。また、応援合戦では、応援リーダーが中心となって練習を重ね、各チームの個性を生かした演技で体育の部をさらに盛り上げました。昨年は体育の部1位の黄色チームが総合優勝し、最後の翠光祭となった3年生だけでなく生徒全員が素晴らしい思い出になりました。



6連覇ならず… ～倉商定期戦～

平成27年5月12日、第62回倉商定期戦が開催されました。あいにく天候に恵まれず、野球競技を開催することができませんでしたが、体育館や運動場でたくさんの素晴らしいプレーを見せてくれました。どの競技も日頃の成果を十分に発揮し、応援団を熱くさせてくれました。特に最後に行われた男子バスケットボール部の試合では、アリーナに全校生徒が集まり、全国大会のような熱烈な声援を送りました。

総合結果は残念ながら、引き分けに終わり、6年連続の優勝旗を手にはできませんでしたが、この倉商定期戦のためにどの部も日々苦しい練習を重ね、定期戦に向けた熱い思いや伝統を胸に、迫力あるプレーを見せてくれました。勝利とはなりませんでしたが、この経験を来年の倉商定期戦に存分に生かし、優勝してくれると信じています。



第62回定期戦成績一覧表

種目	倉商		東商		
	得点	勝点	得点	勝点	
陸上競技	男	61	2	54	1
	女	41	1	74	2
剣道	男	3	2	0	1
	女	3	2	2	1
バレーボール	男	0	1	2	2
	女	1	1	2	2
バスケットボール	男	65	1	67	2
	女	34	1	73	2
ソフトボール		4	2	3	1
ソフトテニス	男	2	1	3	2
	女	3	2	2	1
卓球	男	1	1	4	2
	女	3	2	2	1
野球			中	止	
バドミントン	女	5	2	0	1
総合		21		21	

部活 ～その足跡～

平成27年度、全国大会に出場した、男子バレー部とボート部へ取材に行きました。

バレー部は、1年生ながらインターハイの優秀選手に選ばれた小野翔平君にインタビューしました。「1年生で全国を経験できてよかった。自分たちも全国レベルに行くまで、練習が必要。次は、全国ベスト8以上を目標にして、課題をクリアしていく。」バレー部は、春高バレーへの出場を決めています。さらなる活躍が、今から楽しみです。

次に、ボート部のキャプテン湯浅寿々丸君にインタビューしました。「試合までに怪我や病気になる人が多く、これで勝てるのか不安になりました。自分はボートの一番前で自分のリズムに合わせてもらわないとだめで、リスクが大きく、支えられてばかりです。だから、チームのためにも苦手に立ち向かい克服していこうと思います。」強豪関西を打ち破り、全国への道をつかんだボート部の、今後の更なる躍進に期待しています。



一商懸命 ～東商デパート～



毎年行われている東商デパートが平成27年度も開催されました。東商デパートは、平成5年からスタートし、昨年で22回目を迎えました。

平成27年度は11月21日(土)に開催され、たくさんのお客様にご来店いただきました。私たち生徒は、お客様からの感謝の言葉を励みに、戸惑い・失敗を繰り返し、緊張しながらも最後まで全身全霊でお客様の接客に取り組みました。今年は「一商懸命～売り手よし！買い手よし！世間よし！～」をテーマに採用しました。商業生として、一生懸命デパートに取り組みもうという意を表しています。

事前学習のビジネスマナー講習会を実施していただいたこともあり、デパートに対する生徒自身の姿勢も大きく変化したように思いました。

デパート当日は天候にも恵まれ、約7,000人のお客様にお越しいただきました。小さいお子様から高齢の方まで幅広い年齢層のお客様にご来店いただき、とても嬉しく思いました。開店する前から列になって並んでいただいて、生徒も緊張を感じ

ながらもわくわくした様子でした。10時に開店してからすぐに岡山ドームの中は人で溢れかえり、にぎやかなデパートとなりました。生徒はとても忙しいデパートになりましたが、忙しさの中にも楽しさがあり、やりがいを感じながらお客様に接客を行いました。とても充実したデパートになったと思います。

恒例となっているサンリオと東商のコラボ商品では、今年はキティちゃんが印刷されたマシュマロを販売しました。かわいいキティちゃんのデザインは好評で、たくさんの方が手に取っていただきました。

東商デパートでの商業に関する様々な経験は、私たちの今後に大きな影響を与えたいと思います。来年のデパートの際にはぜひお越しください。



国際交流

本校では近年、海外との交流が盛んに行われています。昨年からは今日までに4人、1団体と交流を行いました。(表参照)また、他にもラオス、セブ島を訪問したり、中華大学と交流会を開催したりもしています。

この秋、スウェーデンからの留学生、アリス君が所属していた2年1組の妹尾真以子さん、ホストファミリーだった3年8組高倉知愛さんに感想を聞きました。

2年1組 妹尾真以子さん

私たちのクラスに留学生が来ると先生から伝えられたとき、どうやって話そうかととても緊張していました。しかし、話してみるとアリス君は日本語が上手で、自分から積極的に話しかけてくれたのでその緊張はすぐに解けました。私は元々英語が苦手で、最初はうまく話せなかったけど、途切れ途切れの英語もアリス君は理解してくれました。会話に慣れてくると、徐々に英語でのコミュニケーションもたくさん取れるようになったと思います。

英語の勉強を頑張って、いつかアリス君と完璧な英語で話せるようになりたいです。

3年8組 高倉知愛さん

アリス君にはスウェーデン語を教えてもらったりもしたのですが、スウェーデン語は少し英語に似ているところがあり驚きました。スウェーデンのスーパーには日本茶が売っているらしく、日本の文化がスウェーデンにまで伝わっていると思うと、とても嬉しかったです。

近年グローバル化が進むなか、海外の方とコミュニケーションをとるということは特に重要視されていると思います。本校も岡山県商業教育の中心校として外国語学習に力を入れていますが、留学生を迎え“生きた外国語”に触れることで、多くの生徒が抱く外国語苦手意識を軽減できるのではないのでしょうか。私たちも海外の方と実際にふれあうことで、日頃の学習に勝る多くのものを手に入れたように感じました。



名前(性別)	年齢	出身国	在籍期間	所属クラス
ジョージ(男)	17	ラトビア	平成26年9月1日 ～平成27年7月31日	1年目 2-1 2年目 2-9
ジェシカ(女)	17	オーストラリア	平成26年10月1日 ～ 10月29日	1-2
ナムーン(女)	17	モンゴル		1-3
アリス(男)	18	スウェーデン	平成27年10月5日 ～ 10月31日	2-1
中国人訪問団 ※ 広州の高校2校で編成			訪問日 平成27年11月6日	高校生 28名 教員 4名

同期会だより



傘寿記念・第11回岡山東商第六期同期会

3年振りに恩師3名を含む42名が集合。内訳は、恩師：松田金三郎先生、池畑調一先生、西中國夫先生、同期生：男子25名、女子14名である。

卒業して60年、傘寿記念第11回目の「同期会」を去る平成27年9月24日、ホテルグランヴィア岡山において開催した。まず、記念写真の撮影後、前回の同期会以降14名の物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げ、同期会会計報告、世話人代表のあいさつ、恩師紹介並びにあいさつ、記念品贈呈等セレモニーを経て懇親会に移り、今年満102歳になられた松田金三郎先生を囲んで懐かしい風景、特に、腹八分目でなく、腹六～七分目が長寿のひけつであることを伺いながら、思い出話や家族構成、健康状態等に花が咲き、和やかな一時を過ごすことができた。

そして、最後に校歌を斉唱し、3年後の再会を約束して散会した。



傘寿記念 第11回 岡山東商第六期同期会
平成27年9月24日 於 ホテルグランヴィア岡山

同期会の動向

同期生は、昭和30年3月291名卒業、平成27年10月現在、物故者98名・転居先不明15名・通知不要者4名で、現在174名の会員で構成している。

同期会は、卒業10周年記念から今回の傘寿記念（卒業60周年）として11回開催した。また、同期生で近畿居住者により、平成12年12月に「東六会近畿支部」を結成して、近畿各府県持ち回りで毎年「近畿支部同期会」を開催している。

その他同期会の動きとして、昭和51年11月ゴルフ仲間の有志が親睦と技術向上に貢献するため「東六会」を結成、

回を重ね今回で第156回を迎えた。昭和60年5月、延藤満君の好意により「第六期同期会事務局」を(有)トリオ内に設置し、現在は(有)三盛堂に変更している。平成9年11月、同期生の有志で隔月の第二水曜日に夕食を共にしながら、情報交換の場として始まったこの会も人数が増え、現在「二水会」として継続して開催している。また、平成17年10月には、卒業50周年記念誌“とうろく”（A4判・154頁・クロス表紙）を発刊した。

(桑田徹也)

岡山東商20期同窓会

9月19日(土)ホテルグランヴィアにて65歳の同窓会を開催。島田先生を迎えて往年の美少女、美少年が集いました。五黄の寅年だけあり、個性豊かな賑やかな会となりました。在学当時、丸刈りだった頭を長髪に変えた「中庭事件」も今や楽しい思い出と化しその当時の団結力で話が盛り上がりました。

還暦同窓会から5年。生活状況も随分変わり、退職者、叙勲者等。

それぞれの話題に花が咲きあつという間のひと時でした。2次会も盛況に行われ名残を惜しみながら、3年後の再会を誓い解散。

おそらく翌日は寝込んでいることでしょう。(常原洋子)



岡山東商業高等学校20期生同窓会
平成27年9月19日 於 ホテルグランヴィア岡山

19期 卒業50周年 記念同期会 のお知らせ

めでたく前期高齢者の仲間入りをされた19期生の皆さん、往年の紅顔の美少年と美少女が大勢参加して楽しく賑わった卒業45周年記念同期会から、早いもので3年の歳月が流れました。

出席者のアンケートをもとに委員会で検討した結果、次は卒業して50年の記念同期会を開催することが決まりました。

その時期やアトラクションなど詳細は未定ですが、決まりましたら案内状を送りますので、忘れていた青春時代に戻って笑い転げたあの頃を語り合いましょう。

忙しい人も忙しくない人もそれなりの人も、是非ご出席ください。

東19期 三垣正博

近畿支部だより

近畿支部長 工藤 隆



岡山東商高近畿支部 同窓会
平成26年6月7日 於:大阪弥生会館

平成27年度は休会となりました近畿支部の同窓会も、本年は下記の新体制でスタートすることとなりました。

長年にわたり横田支部長には大変ご苦勞をおかけいたしました。改めてお礼申し上げます。

支部長 工藤 隆 (東15期)
副支部長 赤沢忠彦 (東14期)
同 齊藤竹治 (東15期)

28年度の同窓会を下記日程で開催いたしますので、多数ご参加お願い申し上げます。

平成28年3月12日(土)
近鉄堂島ビル B1F 河岸番外地にて
(連絡先) 工藤 隆 090-1715-5492



卓球部OBOG会が開催されました

11月7日、恒例の「平成27年度岡山東商卓球部OBOG会」が開催されました。本年は「卓球大会」「懇親会」と合わせて、「卓球女子元世界チャンピオン 松崎キミ代さん」をお迎えして「講演会」を開催致しました。

14時より同窓会館で行われた講演会。在校生・OBOGの他、懇親のある東山中・西大寺中の卓球部員を含め、80名を超える参加となり、1時間のご講演を熱心に拝聴致しました。誰にも負けない、卓球に対する「強い信念・情熱」があったからこそ「世界チャンピオン三冠」を成し遂げられた事が良く分かりました。

とある大会で優勝出来なかった時、中国の周恩来首相から「(負けたけど)あなたが一番です」と言われたと。勝っても負けても自分を見失う事なく、日本人らしい態度を貫かれた素晴らしい態度が、首相の心を打ったのでしょう。松崎さんは、強さ・技術だけではなく「人として世界チャンピオン」でいらっしたのです。

参加者全員に配布された信念のお言葉。
「夢のある人には 目標がある 目標のある人には 努力がある
努力する人には 反省がある 反省する人には 進歩がある
進歩する人には 夢がある」。
松崎さんのご講演を聴き、信念のお言葉を目にした在校生達の今後の活躍が楽しみです。

16時から開催した「卓球大会」。格技場が改装中の為、会場を東山中学校に移しての開催となりました。中学生・高校生・OBOG、それぞれの技を競い合いました。また、会場の一角では「松崎さんアドバイスコーナー」を設置。元世界チャンピオンからのアドバイスを受けられる事など滅多にありません。真剣な眼差しの在校生達がとても印象的でした。



その後の懇親会は、先輩の経営されている「北京菜館 桃花源」にて開催。松崎さんにもご参加頂きました。大変珍しく貴重な中国酒も差し入れ頂きました。8期の大先輩から、卒業したばかりの66期のOBOGが交わり、大変盛り上がりしました。

当卓球部は来年、発足「70周年」を迎えます。また、OBOG会は元宗新会長のもと、新体制となります。受け継いできたよき伝統を、OBOG会としても微力ながら支えて続けて行きます。

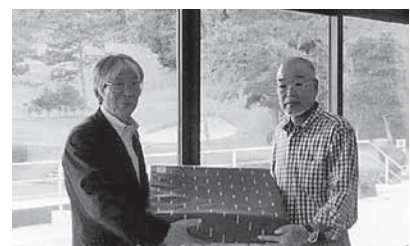
最後に、遠方よりお越し頂いた松崎さん、東山中学校、岡山東商、準備頂いた天野先生と卓球部員、ご参加頂いた全ての方々に、感謝の想いを込めまして御礼申し上げます。(事務局)



第40回東商高同窓ゴルフ大会が開催されました

平成27年10月7日(水) 赤坂カントリークラブ
参加者132名

■ 成績		Out	In	GROSS	HDCP	NET
優勝	千田健治 (14期)	40	40	80	10.8	69.2
準優勝	石賀一行 (22期)	42	41	83	13.2	69.8
3位	守安 修 (19期)	44	38	82	12.0	70.0
団体優勝	6期					
★ホールインワン賞	渡辺一馬 (24期)					
★40位賞	占部博久 (42期)					



(左)千田さん (右)石賀さん

私のコインと紙幣

宝物

三乗工業(株)代表取締役会長 眞田 信 典 氏 (東6期)

岡山県総社市で自動車内装部品の製造を手掛ける三乗工業(株)の眞田信典会長の宝物は、日本や世界の新旧コインと紙幣。およそ五千三百枚、約二千種をコレクションしている。

「アジアを中心に約百五十の国のコインと紙幣を収集しています。昭和四十二、三年頃からいままで、出張や旅行で百三十回以上、海外に出掛けましたが、行くたびに買い物のお釣りにもらった小銭が溜まっていきます。帰ってそれをゆっくり見ていたら、デザインや素材など、その国のお金に対する思想が表れていて、とても興味深く感じました」と眞田会長は収集を始めたきっかけを語る。

「これらを見てみると、海外を飛び回っていた当時の懐かしい思い出がよみがえってきます。そこから今度は、旧いお金を集め始めました。古いお金からはそれが使われた時代ごとの貿易や経済情勢が見えてきます。新しい貨幣で世界を知り、旧い貨幣で歴史を知る楽しみは尽きません」



同窓会役員名簿

役 職	卒業期	氏 名	役 職	卒業期	氏 名	役 職	卒業期	氏 名
顧 問	一商45	赤 木 實 男	常任幹事	東6期	眞 田 信 典	常任幹事	東20期	常 原 洋 子
"	東14期	武 田 聖 克	"	東6期	高 橋 敏 江	"	東22期	奥 江 孝 宏
参 与	東3期	藤 森 武	"	東7期	小 寺 司	"	東23期	横見瀬 妙子
"	東4期	岸 加峯子	"	東8期	吉 原 万 計	"	東25期	元 宗 三 好
"	東5期	鬼 山 隆	"	東8期	伊 原 正 志	"	東28期	佐 藤 誠 二
"	東7期	長 原 利 枝	"	東8期	永 谷 勝 治	"	東30期	吉 田 和 美
"	東15期	莊 直二郎	"	東10期	藤 原 和 雄	"	東30期	高 瀬 裕 貴 子
会 長	東17期	石 川 浩 朗	"	東11期	浅 田 祐 次 郎	"	東32期	三 谷 幸 代
副 会 長	東14期	本 徳 誠 人	"	東12期	宇 野 精 一	"	東35期	山 本 孝 男
"	東17期	木 梨 憲 忠	"	東12期	河 原 完 治	"	東36期	鄭 健 剛
"	東19期	中 田 眞 理 子	"	東13期	岡 本 成 機	"	東38期	平 松 基 治
"	東20期	服 部 和 文	"	東13期	山 田 久	"	東39期	野 口 慎 一 郎
"	東22期	永 岡 美 智 子	"	東14期	桑 田 邦 彦	"	東42期	占 部 博 久
"	東23期	澤 根 育 生	"	東15期	三 田 清	"	東49期	新 谷 訓 久
"	東30期	綾 野 富 夫	"	東16期	坂 井 俊 明	監 査	東15期	平 尾 壽 代
"	東30期	古 谷 史 栄	"	東17期	中 島 賢 一	"	東18期	橋 本 清 行
事 務 局 長	東21期	田 中 泰 弘	"	東17期	宮 武 高 夫	会 計 幹 事	東46期	入 江 誠
常 任 幹 事	一商34	藤 原 栄 一 郎	"	東17期	福 武 文 子	近 畿 支 部	東15期	工 藤 隆
"	一商42	小 野 宏 一	"	東18期	板 野 一 郎	"	東14期	赤 沢 忠 彦
"	一商43	河 野 通 泰 寿	"	東18期	草 地 正 周	"	東15期	齊 藤 竹 治
"	東2期	中 尾 昭 義	"	東18期	箕 輪 利 一	常 任 幹 事 学 校	東31期	筒 井 雅 幸
"	東2期	喜 多 孝	"	東19期	万 代 伸 正	"	東42期	石 田 慎
"	東4期	伊 藤 博	"	東19期	三 垣 正 博	"	東56期	竹 藤 めぐみ
"	東5期	亀 井 貞 夫	"	東20期	波 彦 伸 司	"	東60期	柴 谷 祐 人
"	東6期	桑 田 徹 也	"	東20期	山 口 清 子	"	東62期	酒 本 真 一 郎

同窓会ホームページ

同窓会ではホームページを開設しています。
同窓会への問い合わせ等ございましたら下記までよろしくお願いたします。



同窓会ホームページ

<http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/>





同窓会総会に参加して

古谷 史 栄 (東30期)



卒業生の皆様、こんにちは。

私は、東商30期の卒業生です。ところで皆様、同窓会総会ってご存知ですか？

「それって何？」たぶん大勢の卒業生の感想だと思います。また知っていても「きっと何か高校在学時代に実績があった人が参加する会？」「成績が良かった人が参加？」って考えている方が多いのではないのでしょうか。

かくいう、この文章を書いている私でさえ、同じような認識しかありませんでした。

しかし、数年前、地域のボランティアに貢献しておられる母校の先輩に仕事の関係でお知り合いになる機会があり、その先輩に総会への参加を誘って頂きました。

最初私は、普通の卒業生ですし「なんか、敷居が高そう…」というイメージでしたが、先輩が「大丈夫、誰でも気兼ねなく参加できる会だから」と言ってくださって思い切って参加してみました。

多方面にわたって色々のご活躍を

されている先輩、また県商の卒業生の方もお元気に参加されていました。お歳をかさねても豊饒(かくしゃく)とされ、それでいて初めて参加した人たちにも同じ同窓生として優しく接して下さり、参加前に心配していた気持ちも、あっという間になくなり、楽しい時間を過ごす事ができました。

卒業生の方による、イベントや講演なども毎年実施されており、参加者も年々増え、本当に楽しい会となっています。

今年も、6月の第三日曜日にプラザホテルにて同窓会総会が開催される予定です。

卒業生の皆様、是非今年は参加してみませんか。若い卒業生の皆様には会費の優遇措置もあります。楽しい時間を一緒に過ごしましょう。



第115回 岡山県商・東商高同窓会総会 ～祝・選抜野球大会全国優勝50周年記念～
平成27年(2015)6月21日 於 岡山プラザホテル

商品開発



平成27年度からの新科目「商品開発」では、1学期に両備ストアカンパニーとのコラボレーションで弁当の企画・販売をおこないました。

この企画は、生徒が企画した弁当を両備ストア全店で販売しようというものです。

通年販売できる弁当をコンセプトに、企画案から、両備と検討→試食→再検討そして、東商デパートでの実験販売を経て、平成27年12月より、両備ストアで毎週末に

販売されます。採用された弁当は、「健康ヘルシー弁当」、「豆腐ハンバーグ弁当」といった健康志向の弁当に加え、一度に2種類が味わえる、「和中華弁当」そして、「彩り御膳」の4種類です。販売価格は税込みで646円と少々高くなっていますが、ぜひ一度お近くのスーパーでお買い求めいただき、味わってやってください。

(担当教諭 笠木秀樹)



第116回 同窓会総会のご案内

日 時：平成28年6月19日(日)
午後4時より

場 所：岡山プラザホテル

アトラクション：

芦田修次(東19期)と岡山フィル
ハーモニック管弦楽団による
アンサンブルコンサート

編集後記

会報第3号を多くの方々のご協力をいただき同窓生の皆様にお届けすることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

特に今回は、学校関連の記事について、現役生徒の新聞部の皆様に編集いただきました。母校生徒の活躍が皆様に届き、母校を懐かしく思い出していただければ幸いです。

今後とも同窓会活動がさらに盛り上がるようよろしくお願いいたします。

(編集委員会)